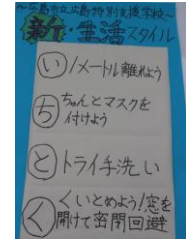


# 学校だより

明るく 元気に たくましく

令和2年7月31日発行  
広島市立広島特別支援学校  
TEL 082-250-7101  
FAX 082-250-7102

校長 中尾 秀行  
E-mail : [yogou-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yogou-s@e.city.hiroshima.jp)  
ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



← 高等部生徒が考えた  
「イチトク新生活スタイル」

## □はじめに

学校が全面的に再開になってから一か月が過ぎました。まだ都市圏を中心に新型コロナウイルス感染症は、私たちに不安な気持ちにさせています。本校としては、子どもたちの感染症対策を進めていくと同時に、身近で行動を共にする私たち教職員も、アルコールや次亜塩素酸水を用いた、こまめな手洗いや換気の徹底、不要不急な外出の自粛、マスクだけでなく授業を進めていく上で飛沫感染を防ぐのに有効なフェイスシールドやマウスシールドの着用、「3密」を避けた会議の在り方、職員室での飛沫感染防止の仕切り版などの取組をさらに進めています。身近に迫っている状況の中、今回の感染症防止については、私たちの日常的な生活様式の在り方が問われています。この状況を、「今さえよければいい」「ここさえよければいい」「自分さえよければいい」という、ともすれば顔を覗かせる人間の弱さを、私たち自身が克服していくチャンスだととらえて、まずは身近な人と声を掛けながら一步一步前に進み、人間的にも成長していきたいと思えます。暑さも厳しさを増してきております。保護者の皆様におかれましても、体調管理に十分お気を付けてお過ごしください。



飛沫感染防止の仕切りを設けた職員室



登校時・下校時の手洗い用グッズ



授業用に準備を進めているフェイスシールドやフェイスマスク

## □看護学実習

7月6日(月)及び8日(水)に、広島都市学園大学健康科学部看護学科の学生13名が、本校で「公衆衛生看護学実習」を行いました。受け入れに当たっては、一人一人の学生についての「感染対策に対する報告書」の提出をいただき、当日の検温や体調確認を徹底して、安全・安心に十分留意した上で実施しました。小学部と中学部の学級に入り、実際の教員の生徒との接し方を目の当たりにして、「児童生徒の表情や仕草から意思を汲み取ることが大切だと分かった。」という感想を述べる学生の言葉に、教員は「悩みながらも一生懸命関わろうとしてくれる姿に忘れかけていた初心を思い出しました。」という言葉で返すなど、この実習を通じて学生の皆さんだけでなく、教職員も成長でき、win-winの効果がもたらされた良い実習となりました。今回の経験を基に、地域で暮らす障害のある方々にも温かい目を向けて、今後も地域保健の学習に取り組んでいただくことを心より期待しております。ありがとうございました。



保健室で養護教諭の対応を学ぶ学生



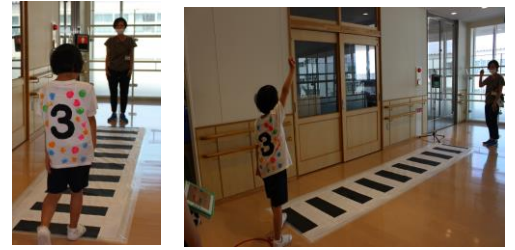
中学部の学級と一緒に入り、生徒に声をかけて、運動に親しむ学生



中学部視力検査の様子を真剣に見つめる学生

## □ 小学部3年 交通安全に向けての取組

小学部3年生では、7月の校外学習のテーマとして「信号を渡ろう」を掲げ、実際の校外学習の事前学習として、校内に手製の横断歩道と信号機を設けて、交通安全に向けての活動を行いました。実際の歩行者用信号機が発する音声を流しながら、信号を渡るタイミング、周囲を確認する動作など、一人一人の様子を全員で確認しながら、全員で練習をしました。最初はうまくいかないこともありましたが、次第に安全確認のタイミングも板に付いてきて、最後には自信满满で渡ることができるようになりました。学校内だけでなく、御家庭におかれましても、機会をとらえてお話いただければ幸いです。



「おそろおそろ」から「自信满满」へ！

## □ 山陽タオル様 贈呈式

前回お伝えしましたとおり、この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、株式会社山陽タオル（橋本正治社長）様から、弱酸性次亜塩素酸水と布おしぼりの無償提供を6月より継続していただいております。これを受けまして、7月2日（木）に、御寄贈いただいた株式会社山陽タオル様贈呈式を行いました。同社代表取締役 橋本 正治 様、平岡 猛 様をお迎えして、目録をいただくとともに、感謝状を贈呈しました。その後、生徒会長の山坂勇斗君が御礼の挨拶を述べ、高等部職業コース中井陽斗君と、渡部涼君が「職業コースの一日」と題して、パワーポイントを用いて学校生活を発表しました。非常に立派な発表でした。株式会社山陽タオル様からいただいた本校に対する励ましの御心を児童生徒に伝えるとともに、御提供いただいた次亜塩素酸水とおしぼりを有効活用して、新型コロナウイルス感染症対策をより一層強化し、今後の教育活動を安全・安心に進めていきたいと思っております。ありがとうございました。



橋本代表取締役からの御挨拶



感謝状と目録を手に記念写真



職業コース中井君と渡部君による見事な発表の様子

## □ 大新土木様 贈呈式

同じく、先月、大新土木株式会社様からアルコールジェルを御寄贈いただきました。これを受けまして、7月9日（木）に、大新土木株式会社 広島・呉営業所 副所長 細谷 歩 様、同工事課長 久保 宏史 様、広島営業所 安部 達也 様、広島県環境保全公社 出島管理事務所 次長（兼）所長 中川 保夫 様をお招きして、贈呈式を行いました。細谷副所長から目録をいただくとともに、本校の教育活動に対して大きな期待しているとの御言葉を頂戴しました。感謝状の贈呈の後には、生徒会長の山坂君が御礼の言葉を、高等部職業コースの三本大喜君と土谷海翔君が職業コースの学習活動について元気よくプレゼンテーションを行い、大きな拍手を受けました。大新土木株式会社様並びに出島管理事務所の皆様には、毎年本校の大きな行事の際には近隣の清掃活動をしていただいております。このように、平素は目に見えないところで本当に多くの皆様に支えられて本校が安心・安全な学校教育活動を展開できていることに心より感謝しております。大切なことはなかなか目には見えにくいと言われますが、今回のコロナ禍による対応を余儀なくされる中で、本当に多くの方々からの温かい思いに気づくことができました。これを深く受け止め、児童生徒が学びへ向かう力の支えとし、いつか皆様へ恩返しができるように、今後も引き続き皆様に愛される学校づくりに取り組んでまいります。本当にありがとうございました。



生徒会長より「御礼のことば」



高等部の作業学習製品をお土産にお渡ししました。



全員でにこやかに記念撮影しました。